



Maneki-Neko

まねきねこ（お金まねき）

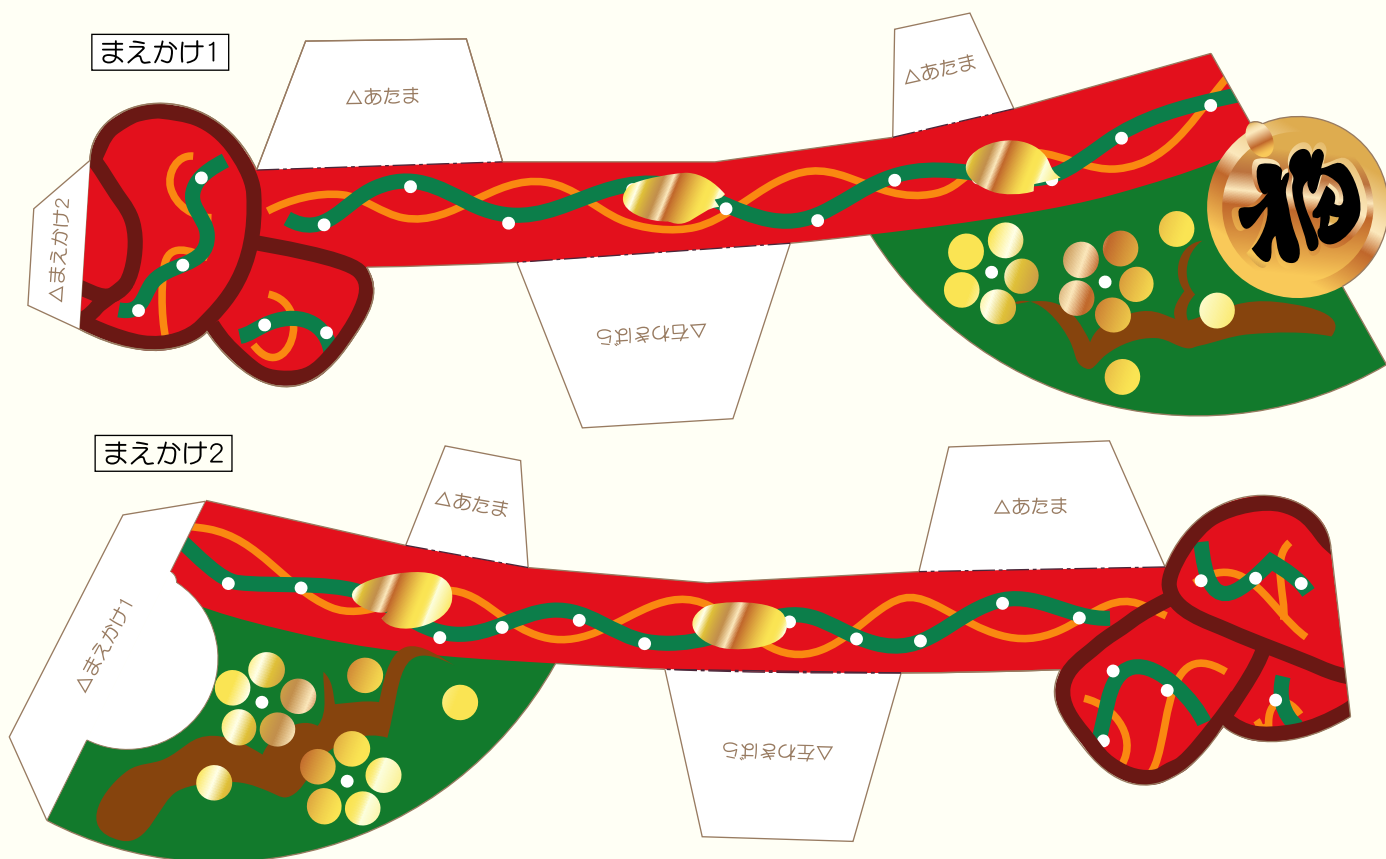
福を招くとされ、日本で広く親しまれている招き猫ですが、その起源については諸説あり、どれが正しいかは現在でも謎とされています。

発祥年代は、江戸時代（1603年～1867年）の終り頃で、明治時代（1868年～1911年）に飾り物として発展したようです。

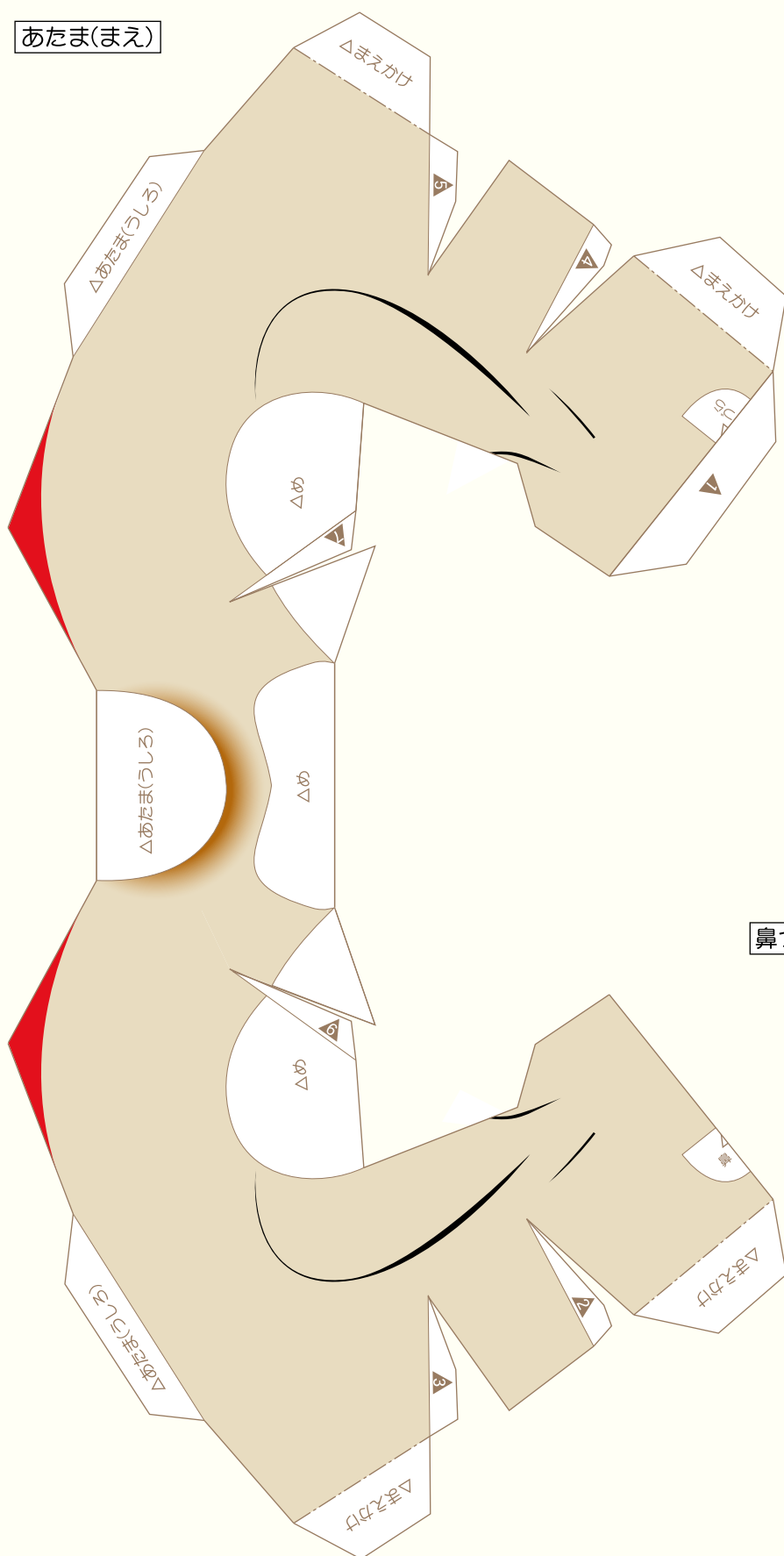
招き猫のポーズには色々ありますが、一般的に、右手を上げているものは「お金や福を招く」と言い伝えられ、家庭や商店などで飾られています。

また、おなじみの「小判」を持つようになったのは最近のことで、愛知県・常滑の招き猫が、その始まりです。

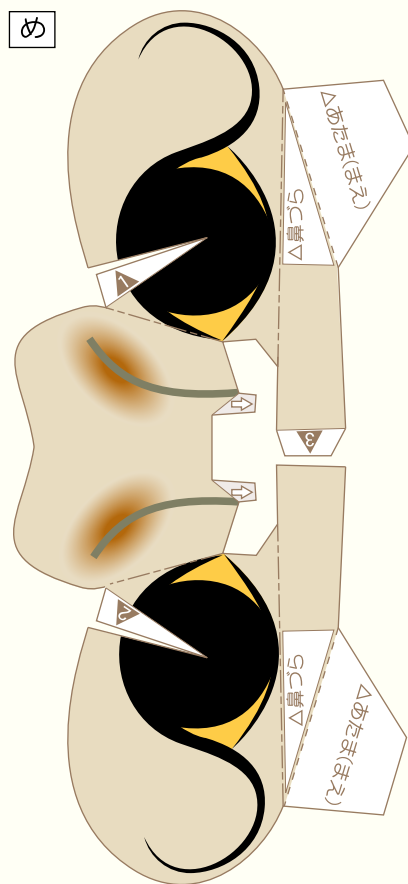
猫の首輪の「金の鈴」が発展し、庶民の願いをより反映した形（小判）になったといわれています。



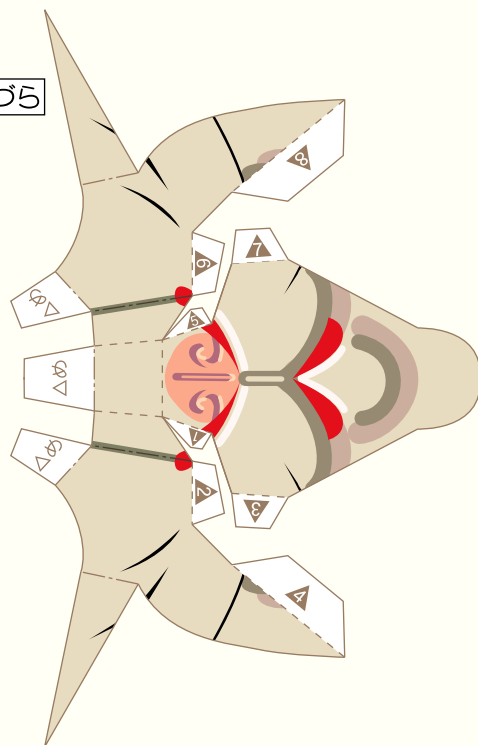
あたま(まえ)

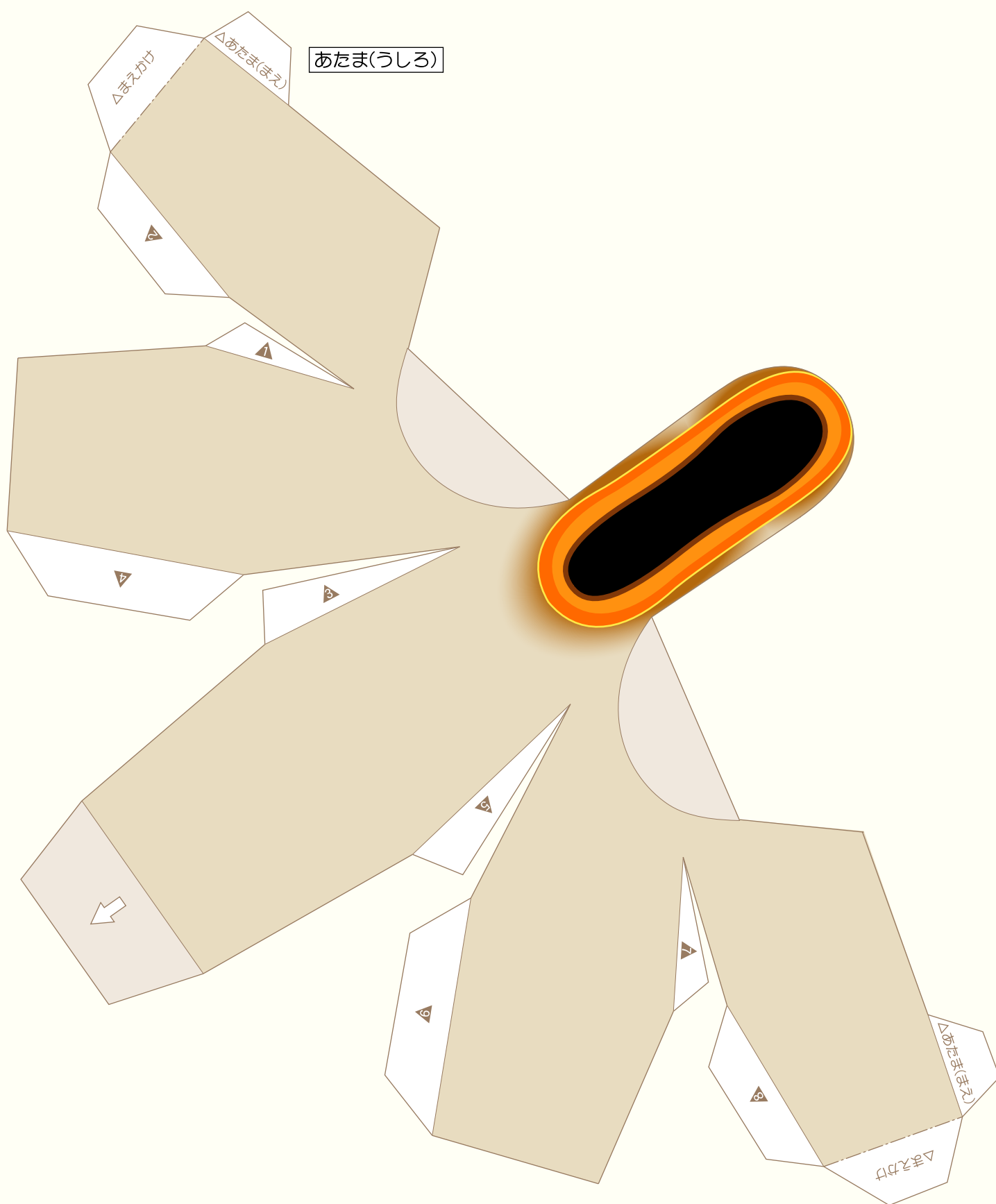


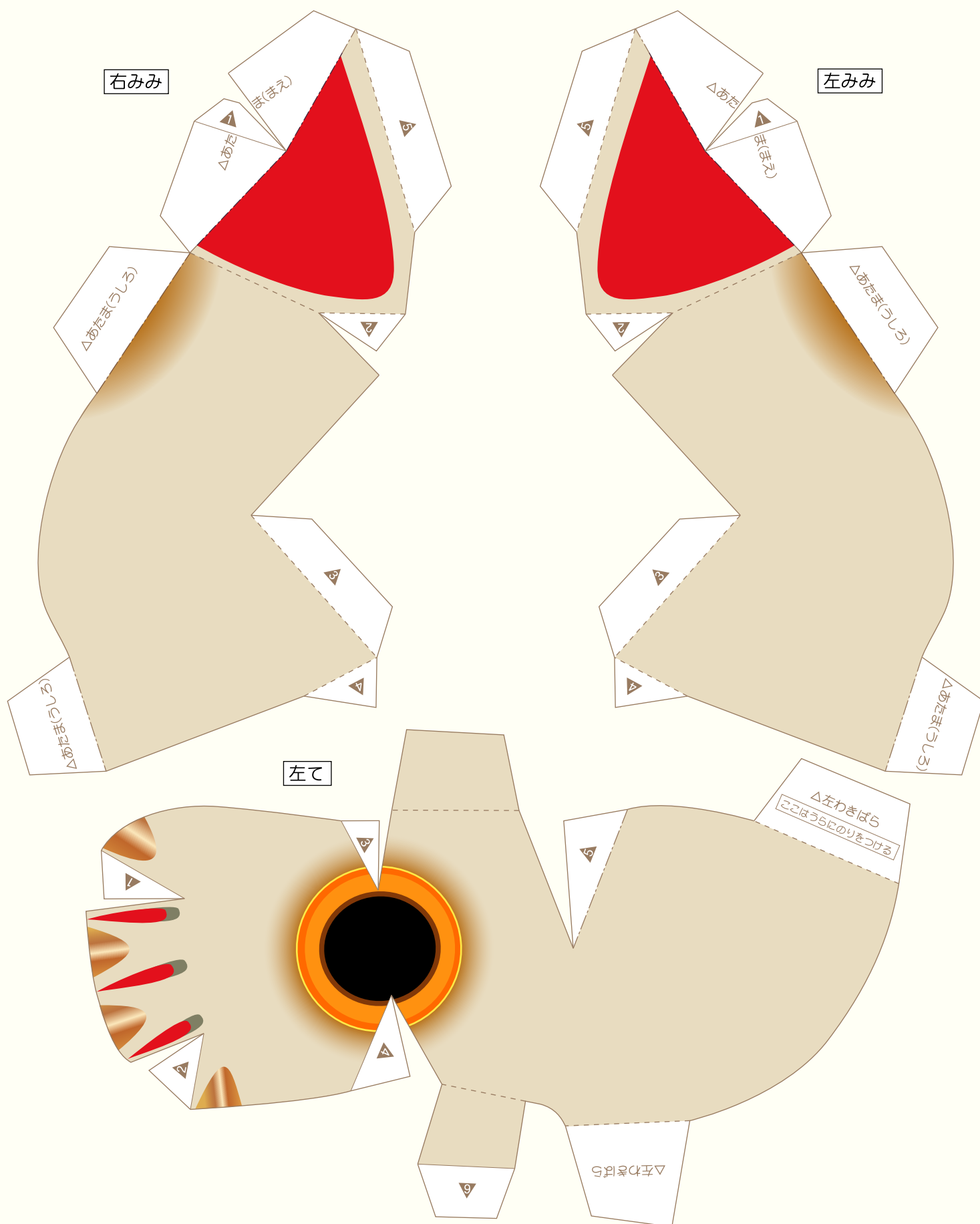
め

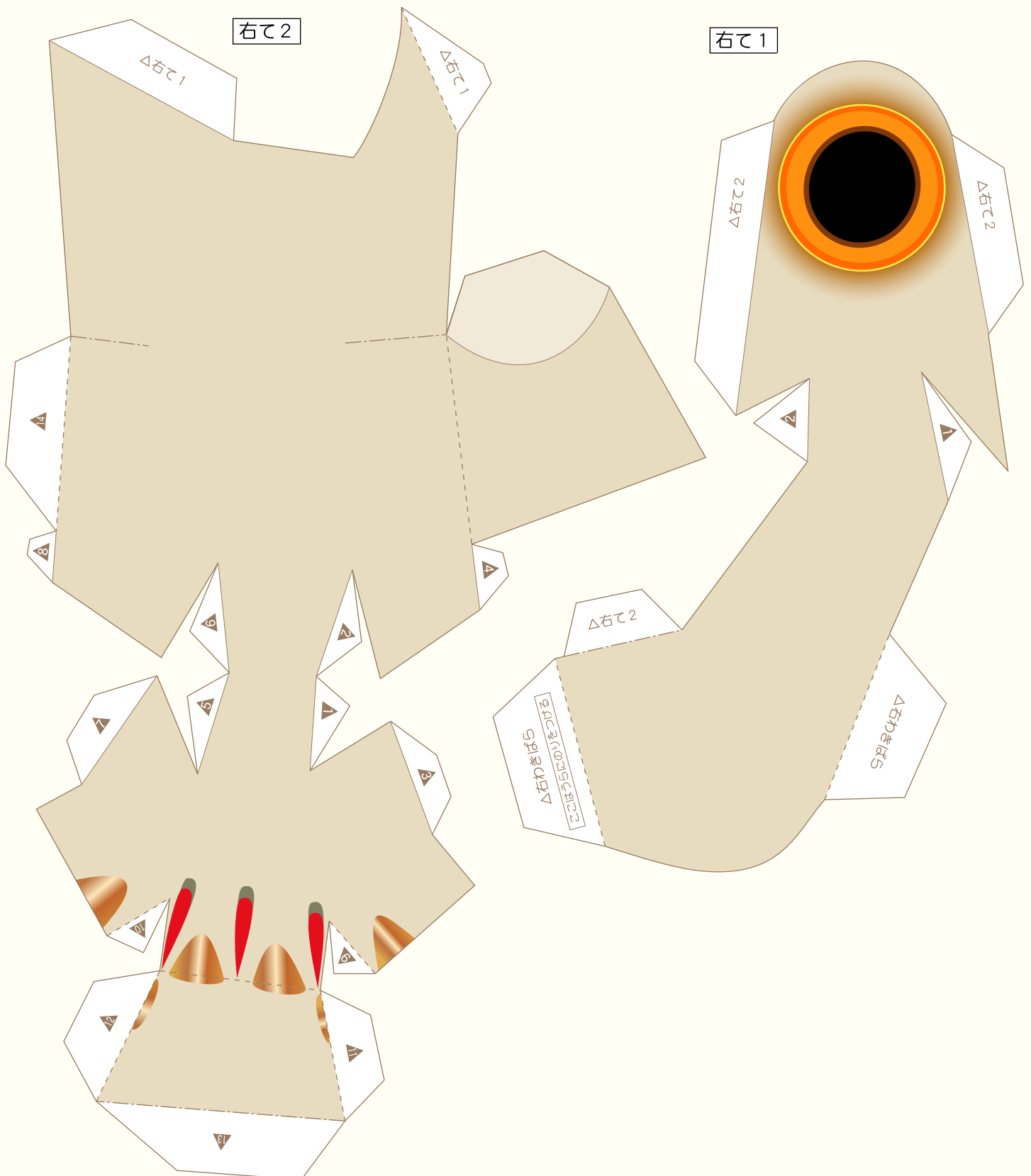


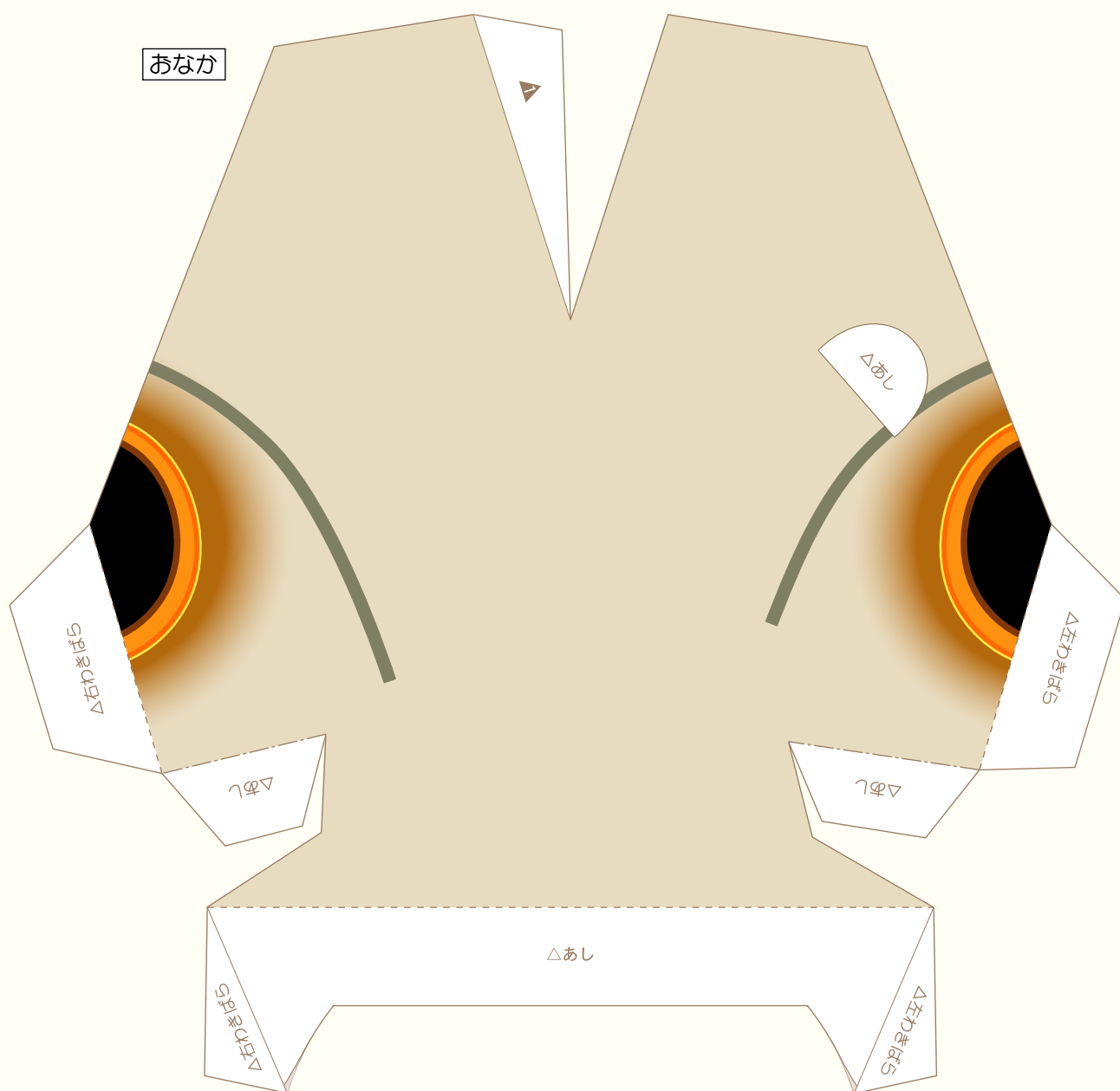
鼻づら

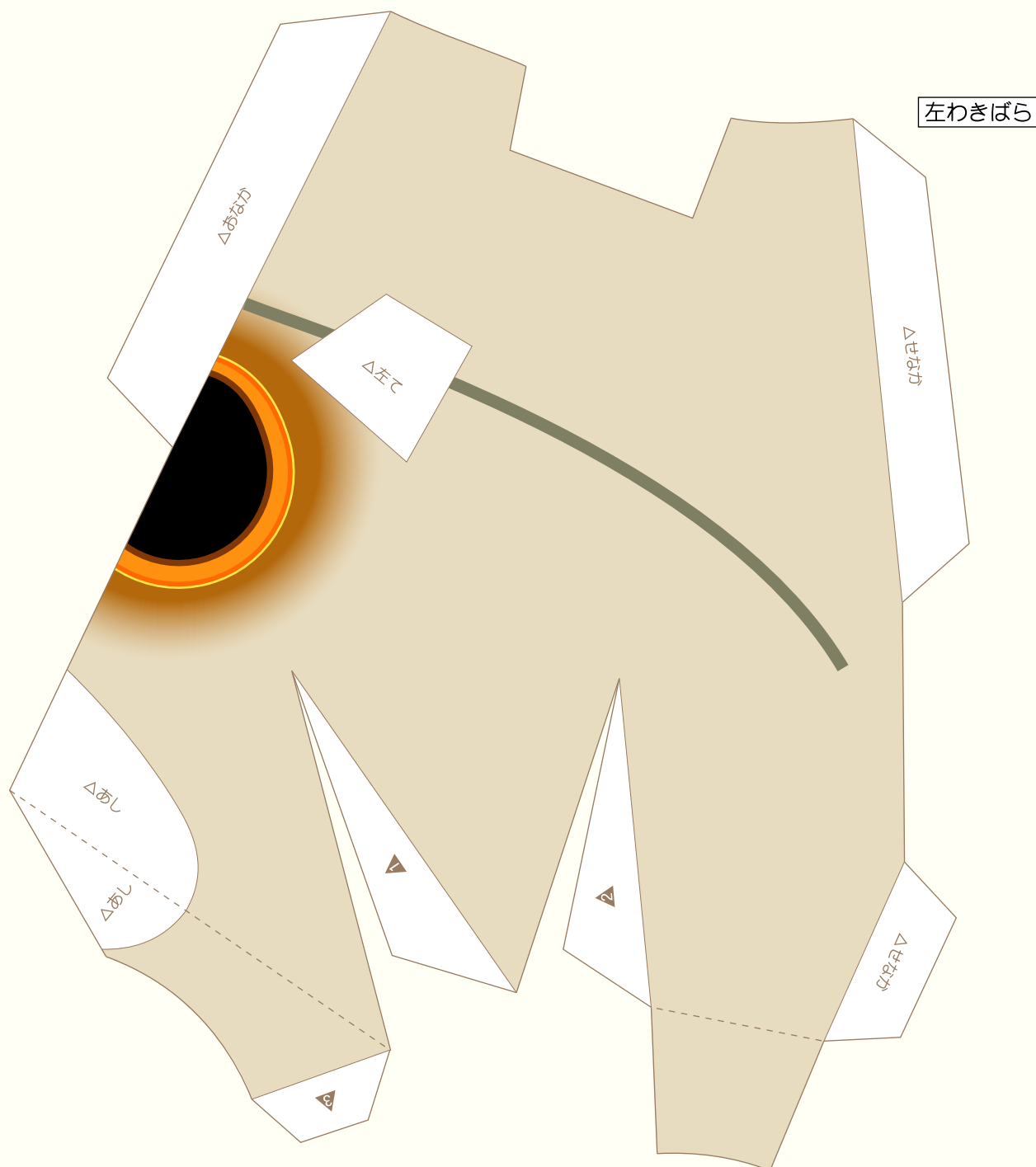


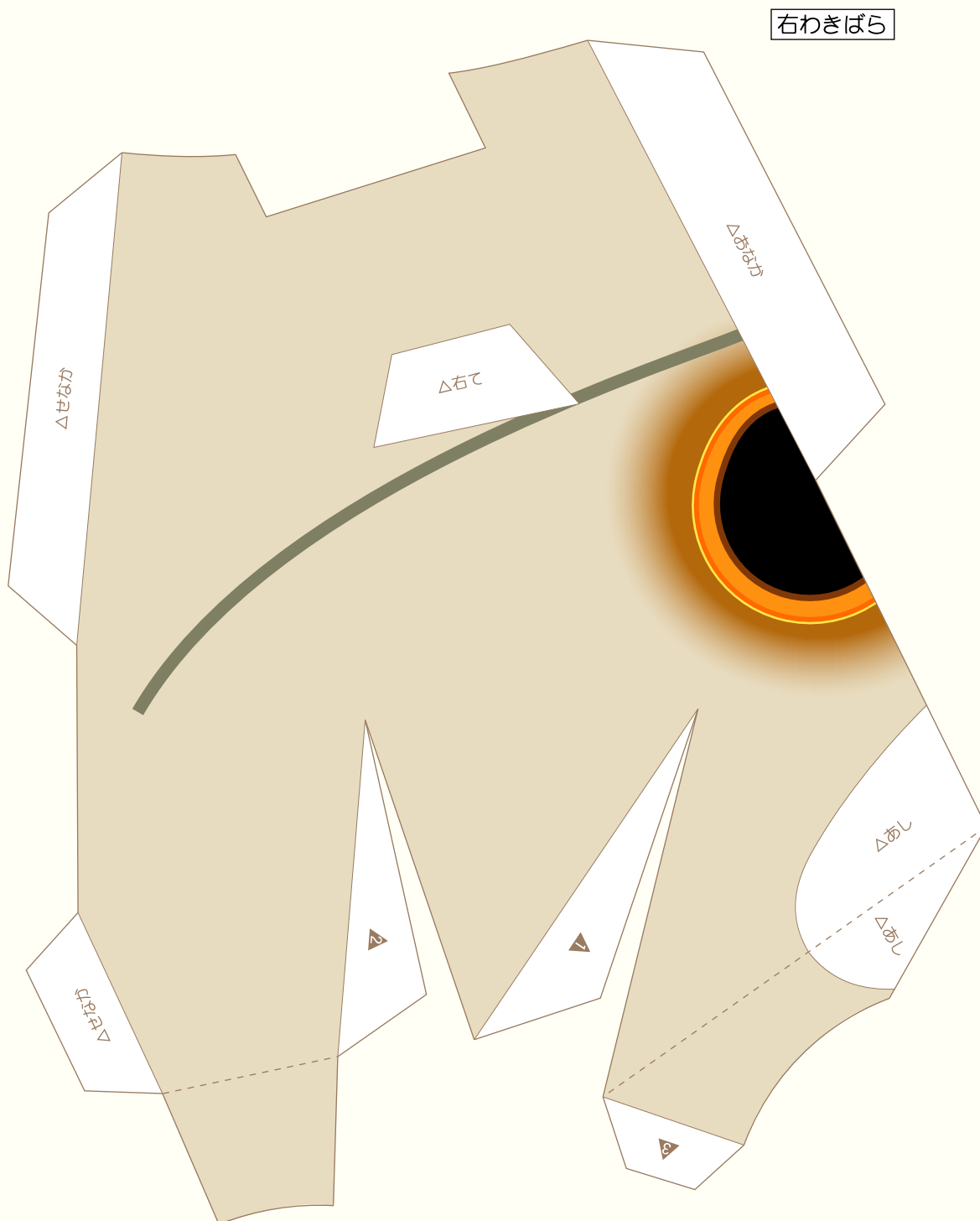


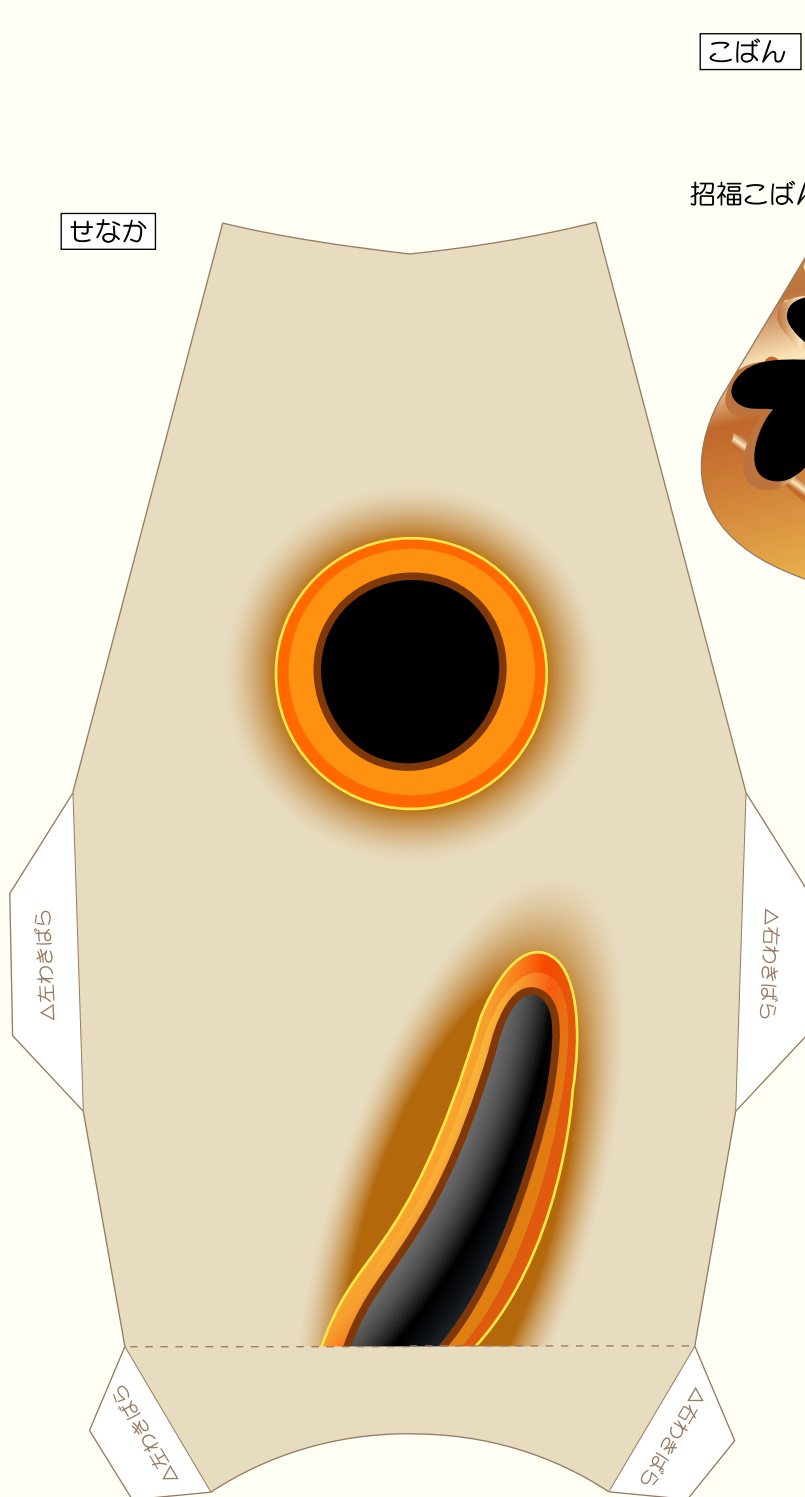












こばん

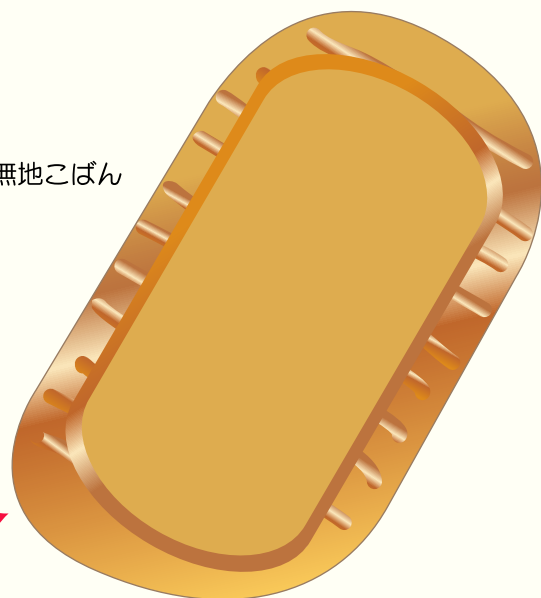
招福こばん



開運こばん



無地こばん



願い事がある人はつつに書いて貼ろう！

